



私たちの将来像、それはユニークネスの集合体です。

第**32**期 中間事業のご報告
2010年4月1日から2010年9月30日まで

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

証券コード：4739

1 トップラインの伸長と収益力の向上

インフラSIビジネスの拡大、クラウドコンピューティングビジネスの拡大、保守・運用サービスビジネスの高収益化、開発SI・ビジネスアプリケーションの収益力強化

2 中長期成長に向けた投資

クラウドコンピューティングビジネスへの投資、中期成長実現のための投資

3 経営基盤及び収益体質の強化

中期成長戦略に即した人材の育成・強化、経営インフラの強化、不採算の撲滅、総コストの削減

Contents

トップメッセージ	1	四半期個別財務諸表	7
TOPICS	2	会社概要／役員	8
四半期連結業績の概況	4	株式情報／株主メモ	9
四半期連結財務諸表	5		



トップラインの伸長と 収益力の向上により、 成長の勢いを加速させます

代表取締役社長
奥田 陽一

株主ならびに投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

現状の経済環境は、企業収益の改善や個人消費、設備投資の持ち直しなど、緩やかな回復が見られる一方、円高進行に伴って輸出および生産が弱含みで推移するなど、依然として先行きに不透明感が残る状況にあります。

情報サービス産業におきましても、受注環境に改善の兆しは見られるものの、企業収益や需要回復に対する先行き懸念を背景に企業のシステム投資に対する慎重姿勢が続くなど、引き続き厳しい状況が継続しました。一方で、IT設備投資および運用コストの削減と、競争力のあるITインフラの維持を両立するための投資として、クラウドコンピューティングが関心を集めており、新たな成長分野としての期待が高まっています。

このような環境下、当社グループは、クラウドコンピューティングサービス強化に向けた取り組みとして、サービスラインアップの拡充、クラウド対応型データセンターの新設検討や専門組織、人材育成制度の立ち上げなどを実施しました。また、ネットワークやストレージ等を中心とした製品販売、開発SIビジネスへの注力など、2010年度経営方針を実

現するための施策を推進しました。

当第2四半期(累計)は、エンタープライズ向けでクラウド関連需要が旺盛だったほか、新技術導入で需要に回復の兆しが見られる通信事業者向け開発案件や商社向け基幹システム案件などが進展し、厳しい環境のなかでも受注が増加しました。当第2四半期(累計)の業績は、情報通信業、金融業、流通業向けのサービスおよび開発の受注が堅調に推移しました。昨年度からの景況感悪化を受けた投資抑制の影響も継続し、売上高は前年同期比で減少しましたが、不採算案件の抑制や販売費及び一般管理費の削減等が奏功し、増益を確保しました。

情報サービス産業におきましても、お客様のIT投資に対する選別が強まっています。このような環境のなか、当社グループは、新たなIT潮流にスピーディーに適応し、クラウド時代のリーディングカンパニーとして、今後もお客様のビジネスパートナーとなるよう、存在感を高めていきます。

株主ならびに投資家のみなさまにおかれましても、引き続き、ご理解、ご支援賜りますようお願い申しあげます。

クラウドサービスを体系化 新ブランド「cloudage」でビジネスを加速

CTCは今期注力するビジネステーマの一つにクラウドコンピューティングを掲げ、積極的に展開しています。今回はこの「クラウド」にスポットを当て、新たな取り組みをご紹介します。

新ブランド「cloudage(クラウドージ)」とは

企業のIT資産は所有から利用へと変化しています。そのような環境のなか、CTCでは多様化するお客様ニーズに対応するため、お客様のビジネスを支える基盤を提供するという思いをこめて、「クラウド時代のビジネスインフラストラクチャーを創造」を基本コンセプトにクラウドの新ブランド「cloudage(クラウドージ)」を立ち上げました。これは、cloud(クラウド)とage(時代)を組み合わせた造語です。

CTCは、2007年から、クラウドコンピューティングの要となる仮想化技術への取り組みを開始しました。プライベートクラウドソリューションの仮想化・統合化パッケージインフラであるVM Poolや、ITインフラをパブリッククラウドサービスとして提供するTechnoCUVICなど、他社に先駆けてクラウドに着手し、積極的にビジネスを展開してきました。

●新ブランドのロゴマーク

クラウド時代のビジネスインフラストラクチャーを創造



●クラウドビジネスにおけるCTCの強み

プライベートクラウド領域

豊富な実績を持つITインフラ構築力
仮想化技術の豊富な
経験に裏打ちされた
システムインテグレーションを提供

パブリッククラウド領域

高品質・高信頼のサービス提供
国内有数のデータセンター上に
仮想化基盤を構築し、
サービスを提供

トータルITサービスの提供
コンサルティングからSI開発・保守運用
サービスまでワンストップで提供

用語解説

» クラウドコンピューティングとは？

クラウドコンピューティングは、IT機器を意識することなく、ITの機能をサービスとして利用する新しいIT環境です。自社内で部門を越えて共同で利用する「プライベートクラウド」と、社外のサービスを利用する「パブリッククラウド」に大別できます。

» 仮想化技術とは？

仮想化技術は、複数のシステムを同一のIT機器上で安全かつ柔軟に稼働させるための技術です。これによりIT機器を効率的に使用することができます。

現在、CTCはプライベートクラウドとパブリッククラウド合わせて約40のサービスを提供しています。cloudageでは、システム構築の流れに沿って、お客様視点でサービスを「プライベートクラウド構築ソリューション」、「仮想化ホスティング」、「SaaS」、「クラウド導入コンサルティング」、「クラウド運用アウトソーシング」の5つのカテゴリに体系化しています。

クラウド時代の人材育成

クラウドビジネスの推進には、ITインフラに関する様々な技術が必要です。CTCでは、ITインフラ技術習得のための研修に加え、経験のあるエンジニアをクラウドアーキテクトとして育成する専門研修を開始するなど、クラウド時代に必要なエンジニアの育成に注力しています。また、高度な知識と豊富な経験を積んだ技術者から構成される“スーパーエンジニア”にクラウド分野も加えました。

CTCは、今後も、世界有数のトップベンダーと連携し、グループ総合力を発揮してクラウドビジネスを推進していきます。

2012年度に、クラウド関連の売上高を全体の2割程度の700億円に拡大する方針です。



クラウドコンセプトの発表に伴い記者会見を実施(10月7日)



日経新聞やビジネス誌などに広告を掲載

●今年度拡充した主なクラウドサービス

サービス		概要
	ヴィエムプール	プライベートクラウド環境向け仮想化統合インフラ
	テクノキュービックプロ	パブリッククラウドの上のOSやミドルウェア構築・運用サービス
	クラウドページデスクトップ	お客様の仕様に沿ってカスタマイズして構築を行う仮想デスクトップサービス
	クラウドページポータル	企業内情報への玄関口となるクラウド型のポータルサービス
	イーアイマネージャー/ウェブ	自社開発した情報管理システム開発基盤
	CTCクラウドバックアップサービス	CTCのデータセンターにリモートでバックアップするサービス
	アイティライフギア	使いやすさを追求した運用管理サービス

「CTCクラウドDay 2010」を開催



「CTCクラウドDay 2010」の様子

11月5日、コンラッド東京にてプライベートセミナー「CTCクラウドDay 2010」を開催しました。クラウドビジネスに関連する全社的なイベントとしては、今年で4回目です。CTCのクラウドサービスを一堂に取り揃え、お客様にアピールしました。

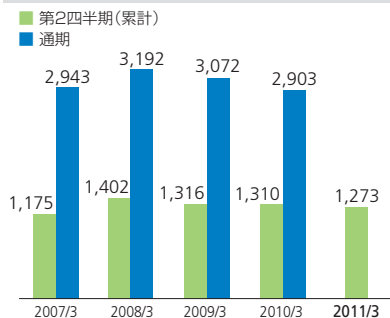
四半期連結業績の概況

当第2四半期(累計)は、通信業界向けの新規通信規格導入に伴うネットワークや認証システムの構築、データトラフィック増加を背景にしたシステム増強などのビジネスが伸長したほか、金融業界向けの市場系システム構築およびコンタクトセンター設備の更新に注力いたしました。製造業界向けでは、システムの仮想化/統合化や生産設備の増強案件、流通業界向けでは、基幹システム・商流システム構築などのビジネスを推進したほか、公共関連では、大学向けの学内情報システムの構築や、電力会社および独立行政法人向けのエネルギー施設耐震解析などのビジネスで

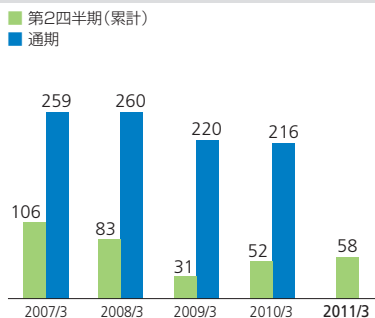
着実に実績を積み上げました。

以上の結果、当第2四半期(累計)の業績は、製品販売が前年同期水準を上回るものの、開発およびサービスビジネスが減少し、売上高は127,324百万円(前年同期比2.8%減)となりました。利益面では、減収の影響はあったものの、売上総利益率の改善や、外部人件費の抑制と継続的な経費削減による販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は5,830百万円(同9.0%増)、経常利益は5,899百万円(同13.1%増)、四半期純利益は2,710百万円(同1.3%増)となりました。

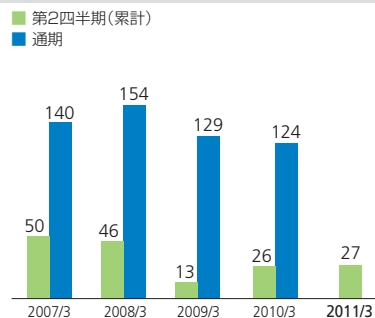
▶ 売上高(億円)



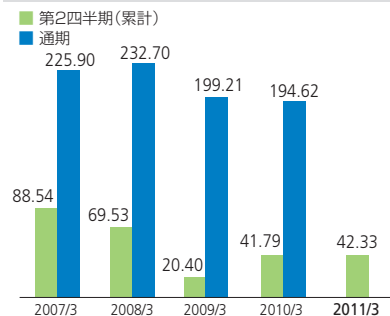
▶ 経常利益(億円)



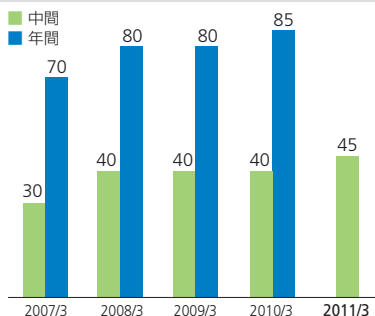
▶ 四半期(当期)純利益(億円)



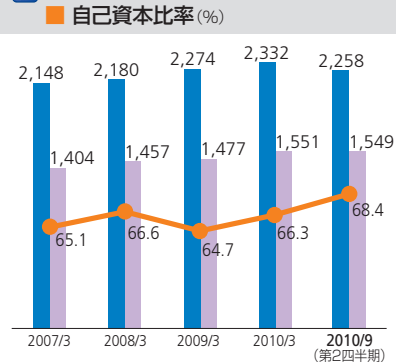
▶ 1株当たり四半期(当期)純利益(円)



▶ 1株当たり配当額(円)



▶ 総資産 純資産(億円)



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	2010年9月30日現在	2009年9月30日現在	2010年3月31日現在
資産の部			
流動資産	172,504	161,852	181,627
固定資産	53,309	52,352	51,602
有形固定資産	30,551	30,389	29,742
無形固定資産	7,303	5,579	5,960
投資その他の資産	15,453	16,383	15,900
資産合計	225,814	214,204	233,230
負債の部			
流動負債	60,204	58,673	69,631
固定負債	10,704	7,427	8,480
負債合計	70,908	66,101	78,111
純資産の部			
株主資本	154,321	147,259	154,492
資本金	21,763	21,763	21,763
資本剰余金	33,076	33,076	33,076
利益剰余金	100,868	93,805	101,040
自己株式	△ 1,387	△ 1,386	△ 1,386
評価・換算差額等	169	331	180
その他有価証券評価差額金	235	426	235
繰延ヘッジ損益	△ 10	△ 14	4
為替換算調整勘定	△ 56	△ 80	△ 60
少数株主持分	414	512	445
純資産合計	154,905	148,103	155,118
負債・純資産合計	225,814	214,204	233,230

資産合計

主に現金及び預金が増加した結果、資産合計は、前年同期末比11,609百万円増の225,814百万円となりました。

負債合計

主に支払手形及び買掛金が増加した結果、負債合計は、前年同期末比4,807百万円増の70,908百万円となりました。

純資産合計

主に、利益剰余金の増加により純資産合計は、前年同期末比6,801百万円増の154,905百万円となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	127,324	131,034	290,391
売上原価	94,571	97,785	213,544
売上総利益	32,753	33,249	76,847
販売費及び一般管理費	26,922	27,899	55,277
営業利益	5,830	5,349	21,569
営業外収益	231	218	538
営業外費用	163	351	480
経常利益	5,899	5,217	21,627
特別利益	293	—	313
特別損失	1,169	207	744
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,022	5,010	21,196
法人税、住民税及び事業税	1,589	2,289	9,610
法人税等調整額	659	4	△ 974
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,773	—	—
少数株主利益	63	39	100
四半期(当期)純利益	2,710	2,676	12,461

売上高

開発およびサービスビジネスが減少したことにより、売上高は前年同期比3,709百万円減の127,324百万円となりました。

経常利益

売上総利益率の改善に加え、販売費及び一般管理費の抑制により、経常利益は前年同期比682百万円増の5,899百万円となりました。

四半期純利益

以上の結果、四半期純利益は前年同期比34百万円増の2,710百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	916	9,926	25,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,991	1,102	△ 1,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,176	△ 3,596	△ 7,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	13	△ 26
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 5,247	7,445	16,652
現金及び現金同等物の期首残高	73,832	57,238	57,238
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 57	△ 57
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	68,585	64,626	73,832

現金及び現金同等物の四半期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権の減少により、916百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主として無形固定資産の取得、有形固定資産の取得により1,991百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金の支払いやファイナンス・リース債務の返済により4,176百万円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前年同期末比3,958百万円増加し、68,585百万円となりました。

四半期個別財務諸表

四半期貸借対照表 (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	2010年9月30日現在	2009年9月30日現在	2010年3月31日現在
資産の部			
流動資産	166,195	156,471	174,527
固定資産	52,240	52,014	50,951
有形固定資産	29,738	29,741	29,058
無形固定資産	6,836	5,298	5,708
投資その他の資産	15,666	16,974	16,183
資産合計	218,436	208,485	225,478
負債の部			
流動負債	68,035	66,672	79,110
固定負債	9,441	6,489	7,546
負債合計	77,476	73,162	86,656
純資産の部			
株主資本	140,737	134,916	138,584
資本金	21,763	21,763	21,763
資本剰余金	33,076	33,076	33,076
利益剰余金	87,285	81,463	85,131
自己株式	△ 1,387	△ 1,386	△ 1,386
評価・換算差額等	222	406	237
その他有価証券評価差額金	232	419	232
繰延ヘッジ損益	△ 10	△ 12	5
純資産合計	140,960	135,323	138,822
負債・純資産合計	218,436	208,485	225,478

四半期損益計算書 (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	117,476	121,109	269,018
売上原価	92,300	96,081	210,703
売上総利益	25,175	25,027	58,315
販売費及び一般管理費	23,224	24,200	48,005
営業利益	1,951	827	10,309
営業外収益	5,023	5,483	6,622
営業外費用	164	292	516
経常利益	6,809	6,018	16,416
特別利益	293	8	289
特別損失	1,174	190	675
税引前四半期(当期)純利益	5,928	5,836	16,030
法人税、住民税及び事業税	379	766	5,587
法人税等調整額	513	38	△ 819
四半期(当期)純利益	5,034	5,032	11,262

会社概要 (2010年9月30日現在)

会社名…………… 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (略称CTC)
 *略称のCTCはプリンシプルである「Challenging Tomorrow's Changes」を表しています。
 英文社名…………… ITOCHU Techno-Solutions Corporation
 本社所在地…………… 〒100-6080 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
 TEL 03-6203-5000 (代)
 URL <http://www.ctc-g.co.jp/>
 創立…………… 1972年4月1日
 資本金…………… 21,763百万円
 社員数…………… 7,189名 (CTCグループ)
 事業内容…………… コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、
 情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート、その他



<http://www.ctc-g.co.jp/>

役員 (2010年9月30日現在)

取締役・監査役

代表取締役社長	奥田 陽一
取締役	中野 亨 (*1)
取締役	西山 茂樹 (*1)
取締役	大西 恭二 (*2)
取締役	藁科 至徳 (*2)
取締役	兼松 泰男 (*2)
取締役	櫻庭 慎一郎 (*3)
取締役	松澤 政章 (*3)
取締役	齊藤 晃 (*3)
取締役 (非常勤)	松本 孝利
取締役 (非常勤)	須崎 隆寛
取締役 (非常勤)	荒井 智仁
常勤監査役	笠間 正夫
常勤監査役	柴田 寛
監査役	林 光佑
監査役	江名 昌彦

執行役員

常務執行役員	奥木 洋一	執行役員	江田 尚
常務執行役員	高取 成光	執行役員	南部 信之
常務執行役員	谷 隆博	執行役員	原口 栄治
常務執行役員	池田 修二	執行役員	森山 一信
執行役員	大久保 忠崇	執行役員	加藤 光明
執行役員	三浦 吉道	執行役員	田村 裕之
執行役員	城田 勝行	執行役員	飯室 弘
執行役員	横山 良治	執行役員	鷲見 知彦
執行役員	寺田 育彦	執行役員	粟井 利行
執行役員	正西 康英	執行役員	湊原 孝徳
執行役員	岡松 宏明	執行役員	湯上 正信
執行役員	鈴木 誠治		

(*) 1. 副社長執行役員を兼務しております。
 2. 専務執行役員を兼務しております。
 3. 常務執行役員を兼務しております。

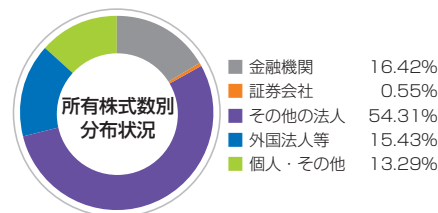
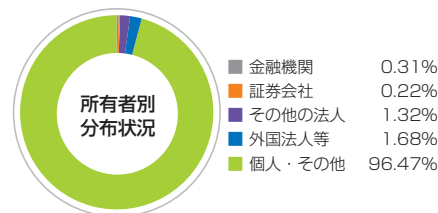
株式情報 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数	株式分布状況
246,000,000株	64,500,000株	18,982名	

大株主の状況

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
伊藤忠商事株式会社	33,665,400	52.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,004,700	4.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,349,400	3.64
CTC社員持株会	989,368	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	698,000	1.08
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	565,859	0.88
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	518,174	0.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	506,300	0.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	447,200	0.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	420,546	0.65

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式470,524株があります。



株主メモ

事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人…………… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
基準日…………… 定時株主総会 3月31日	同事務取扱場所…………… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
期末配当金 3月31日	公告掲載新聞…………… 日本経済新聞
中間配当金 9月30日	単元株式数…………… 100株
このほか必要がある時は、あらかじめ公告して 基準日を定めます。	上場証券取引所…………… 東京証券取引所 市場第一部
定時株主総会…………… 6月に開催いたします。	銘柄コード…………… 4739 (略称 CTC)

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
郵送物に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル) みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
【上記以外のお問合せ】 届出住所・姓名などの変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 単元未満株式の買取・買増請求 等	口座を開設されている証券会社 ※証券会社とお取引をされていない場合は上記のみずほ信託銀行へお問合せ下さい。

CTC

▼ *Challenging Tomorrow's Changes*

